

第9回 日本ワクチン学会学術集会プログラム

15日(土)

16日(日)

- 9:00-11:50 一般演題
- 12:00-13:00 特別セミナー(1) (提供:グラクソ・スミスクライン)
 座長:中込 治(長崎大学熱帯医学研究所教授)
 1. わが国におけるロタウイルス下痢症の疾病負担
 中込とよ子(長崎大学熱帯医学研究所助教授)
 2. Clinical Experience with Rotavirus Vaccines and Global Strategies for Prevention of Rotavirus Disease
 Tilman A Ruff (University of Melbourne)
- 13:10-13:40 総会
- 13:40-14:40 特別講演(1)
 座長:蟻田 功(国際保健医療交流センター理事長)
 Global Immunization Vision and Strategy 2006-2015
 Julian Bilous (WHO)
- 14:40-15:40 特別講演(2) 結核
 座長:神谷 齊(国立病院機構三重病院 名誉院長)
 1. 新しい結核ワクチン
 岡田全司(近畿中央胸部疾患センター臨床研究センター長)
 15:10 2. 小児結核対策とBCG接種政策の現状と課題
 高松 勇(大阪府立呼吸器・アレルギー医療センター小児科医長)
- 15:40-18:20 シンポジウム 「インフルエンザワクチン」
 座長:加地正郎(久留米大学名誉教授)
 廣田良夫(大阪市立大学大学院教授)
 1. ワクチン有効性研究の実際
 廣田良夫(大阪市立大学大学院教授)
 2. 交絡(confounding)
 森 満(札幌医科大学教授)
 3. 誤分類(misclassification)
 小笹 晃太郎(京都府立医科大学大学院助教授)
 4. 選択バイアス(selection bias)
 福島 若葉(大阪市立大学大学院医学研究科助手)
 5. 生態学的研究(ecologic study)
 鷲尾 昌一(札幌医科大学助教授)
 6. 追加発言(ecological fallacy)
 廣田良夫(大阪市立大学大学院教授)
 7. 地域高齢者における有効性研究
 原 めぐみ(佐賀大学医学部助手)
 8. 地域乳幼児における有効性研究
 藤枝 恵(大阪市立大学大学院医学研究科助手)
- 18:30-20:30 懇親会

- 9:00-11:50 一般演題
- 12:00-13:00 特別セミナー(2) (提供:財団法人阪大微生物病研究会、田辺製薬株式会社)
 座長:生田和良(大阪大学微生物病研究所教授)
 1. WT1を標的としたペプチド癌ワクチン
 岡 芳弘(大阪大学大学院医学系研究科)
 12:30 2. SE36マラリアワクチンの開発
 堀井俊宏(大阪大学微生物病研究所教授)
- 13:10-14:10 特別講演(3)
 座長:田代真人(国立感染症研究所部長)
 Pandemic Influenza and the Global Challenges
 Keiji Fukuda (WHO)
- 14:10-17:00 シンポジウム 「国民のための予防接種とは」
 座長:山西弘一(医薬基盤研究所理事長)
 馬場宏一(ばば小児科院長)
 1. 感染症の変遷と予防接種の今後
 神谷 齊(国立病院機構三重病院 名誉院長)
 2. 国の予防接種施策の今後
 塚原 太郎(厚生労働省健康局結核感染症課課長)
 3. 学校保健における予防接種について
 岩崎容子(文部科学省スポーツ・青少年局学校健康教育課)
 4. 医師への予防接種教育
 馬場宏一(ばば小児科)
 (追加発言) 神谷 元 Research Fellow, University of California, San Diego Dep. of Pediatrics
 5. メディアから見た予防接種
 中村通子(朝日新聞・大阪本社、生活文化部)
 6. 特別発言
 新混合ワクチンの認可と予防接種費用の個人負担分の軽減化を望む
 大谷 明(バイオメディカルサイエンス研究会理事長)